

## 世界遺産アカデミー認定講師 File No.40

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当てて、お話を伺います。第40回目は、石川県在住の牧 栄子 さんです。ご家族全員が世界遺産検定を取得されている“世界遺産ファミリー”の牧さん。今回は、世界遺産を通して繋がる大切さと認定講師としてのこれからについて、語っていただきました。

### ——家族の繋がりも深めてくれる 世界遺産

世界遺産と出逢ったきっかけは、TV番組「嵐にしがれ」でした。ある日、嵐ファン<sup>あらし</sup>の娘と一緒に番組を観ていたら、俳優の鈴木亮平さんがゲストで出ていらして、自分のお気に入りの世界遺産をプレゼンするという企画をやっていました。その内容がとても面白くて、お話を聞いていたら俄然、興味が湧いてきて、亮平さんのファンだったということもあり、翌日さっそくネットで検索してみました。すると、亮平さんが世界遺産検定1級ということを知り、私も世界遺産について勉強してみようかなと。それまでは世界遺産というと、旅行で訪れた際に「スゴいな～、古いな～、大きいな～」などと感心するばかりだったのですが、勉強を始めてみたらとても面白くて、一気にハマってしまいました。その後、私の家族は世界遺産検定ブームに突入。私が2級当時、中2の娘は3級にチャレンジして無事合格、半年後には主人と娘が2級に合格しました。その翌年には主人と私が1級に合格、さらに私がマイスターに合格しました。家族3人で共通の興味を持って勉強することになって、家族間での会話がより知的にマニアックに。現在、大学1年生となった娘は在学中に1級、そしてマイスターを目指すそうです。娘は元来、歴史好きではあったのですが、世界遺産の勉強を通じてますます歴史好きになり、センター試験では、なんと世界史満点！進学先の大学でも歴史や宗教を勉強しています。娘との旅行では、その豊富な知識を元に詳しく説明してくれるので、とても助かっています。本当に頼れる良き相棒です(微笑)。

世界遺産を学んで良かったことは、色々な分野を総合的に学ぶことができることです。教科書的ではない学びの中で、地球や人間の歴史や文化が、過去から綿々と積み上げられて現在、未来へと続いていく。過去の物語で終わるのではなく、それが今の私たちの



「旅の相棒」の娘と。コロッセオにて。

中にも在って、私たちの一部が未来へと続いていく。そんな見えない繋がり<sup>まさ えいこ</sup>の素晴らしさに想いを馳せてしまいますね。世界遺産はまるで地球を舞台にした壮大な「大河ドラマ」のようで、その魅力はあまりにもダイナミック過ぎて、ひと言で語ることは到底できません。そんな奥深い世界遺産をライフワークとして、楽しく学び続けていけるということは私の大きな喜びです。わが家では世界遺産ブームが完全に定着して、共通の趣味であり、楽しみであり、よりどころとなっています。例えば、家族で車に乗っているときなどに世界史縛り、世界遺産縛りを入れた「しりとりゲーム」で楽しんだり、世界遺産関連のクイズ番組と一緒に観て問題を解くのを競ったり。そういった意味でも、世界遺産は単に知識の繋がりでだけでなく、家族の繋がりも深めてくれる大事な存在です。

### ——学びは人生への向き合い方にも 関わっていきます。

2018年冬に、娘とイタリアを訪れました。ローマの「フォロ・ロマーノ」では、約2,000年以上も前に造られた物が今でも遺されていること、この場所でカエサルが演説し、キケロが熱弁を奮った姿を想像するだけで、心が沸き立ちました。街中に、まるで体育館のようにコロッセオが在ったり、すぐそこに古代遺跡がゴロゴロと在ったりするのに、現地の人たちにとってはそれが当たり前の風景、ということにも驚きましたが。私はちょっと忘れっぽいところがあって、事前に勉強しても興奮のあまり?

現地ではせっかくの予備知識が抜けてしまい大事なところを見落としてしまうことがあります。家に帰ってから「あそこを観てくれば良かった」と後悔したり。仕方ないので旅行から戻ってから自分の知識と現地での体験を結び付けて、自分の脳内で再構築し直しています(苦笑)。この脳内での再構築は便利な面もあります。コロナ禍で遠出はできませんので、今秋は厳島神社、原爆ドームを訪れました。厳島神社は、大規模な修繕工事中で大鳥居に足場を組んでありましたが、帰宅後にかつての美しい映像を見直して、しっかり書き保存しました(笑)。そして、これほどの大工事が過去から現在まで継続して行われているということは、保全する人々の愛情と努力の表れですから、歴史的瞬間に居合わせることができたとも思っています。今後は、『タージ・マハル』や『ポロブドゥールの仏教寺院群』、『アンコー



パラティノの丘より眼下にフォロ・ロマーノ。カモメもカメラ目線!

ルの遺跡群」なども訪れてみたいのですが、今流行りのVRを使った“脳内変換ツアー”なども良いかもしれませんね。

最近講師活動を抑え気味ではありませんが、先日は地元の石川県公立小松大学で、学生たちへの世界遺産検定ガイダンスを担当させていただきました。世界遺産は、学ぶことの楽しさを教えてくれる大きなきっかけになると思います。学べば学ぶほど、次の世界が見えてくる。より深く知ることによって、さらに興味が湧いて学び続けることができる。世界遺産の勉強を通じて、学生たちがいろいろなことを主体的に学びきっかけになったら素敵だなと思いますね。世界遺産は旅行に行くことによって直接見て感じて楽しむことができるし、自分なりに学び続けることによって、人生をより深く豊かにしてくれると思います。

私は小松市の小松市民博士に登録していますので、今後は出前講座や自治体主催の生涯学習なども担当できたら素敵ですね。現在、石川県在住の認定講師は、私を含めて3名。今後はSNSでの発信も考えつつ、この方々に呼び掛けて全国の認定講師との繋がりを持って、情報交換はもちろん、自分自身の知識ももっと深めていきたいですね。



瀬戸内海の絶景! 弥山の獅子岩展望台より